



地質情報の探し方

地質調査総合センター地質情報データベースの紹介

あなたが普段暮らしている地面の下はどうなっているのでしょうか？

地質調査総合センター(GSJ)では目には見えない地面の下の様々な情報をインターネットで公開しています。このカタログではGSJが公開するデータベースの特徴と使い方をできるだけわかりやすくご紹介いたします。実際に自分のお仕事で、あるいは個人的に使うときの参考にさせていただければ幸いです。

産業技術総合研究所
地質調査総合センター
2016年10月版

目次

<u>GSJ データベースのご紹介</u>	3
<u>本資料の使い方</u>	4
<u>統合利用</u>	5
<u>地質図 Navi</u>	6
<u>陸域地質情報</u>	8
<u>関東平野の地下地質・地盤データベース</u>	9
<u>地質図類データダウンロード</u>	10
<u>地層名検索データベース</u>	11
<u>都市域の地質地盤図</u>	12
<u>20 万分の 1 日本シームレス地質図データベース</u>	13
<u>海洋地質情報</u>	15
<u>海域地質構造データベース</u>	16
<u>高分解能音波探査断面データベース</u>	17
<u>出版物・文献</u>	18
<u>貴重資料データベース</u>	19
<u>地質図カタログ</u>	20
<u>統合版地質文献データベース (Integrated GEOLIS)</u>	21
<u>地震・活断層</u>	22
<u>活断層データベース</u>	23
<u>(QuiQuake シリーズ) 地震動マップ(速報) / QuickMap</u>	24
<u>(QuiQuake シリーズ) 地震動マップ(確定) / QuakeMap</u>	25
<u>(QuiQuake シリーズ) 液状化危険度マップ(速報) / LiquickMap</u>	26

<u>地震に関連する地下水観測データベース</u>	27
<u>地殻応力場データベース</u>	28
<u>地下構造可視化システム</u>	29
<u>津波堆積物データベース</u>	30
<u>火山</u>	31
<u>第四紀噴火・貫入活動データベース</u>	32
<u>日本の火山データベース</u>	33
<u>地球物理</u>	34
<u>岩石物性値データベース(PROCK)</u>	35
<u>重力データベース(GALILEO)</u>	36
<u>日本列島基盤岩類物性データベース</u>	37
<u>地球化学</u>	38
<u>地球化学図データベース</u>	39
<u>地球化学標準物質データベース</u>	40
<u>衛星</u>	41
<u>ASTER 高温領域検出システム</u>	42
<u>衛星データ検索システム MADAS</u>	43
<u>海面上昇シミュレーションシステム</u>	44
<u>火山衛星画像データベース</u>	45
<u>WMS / WMTS のご紹介</u>	46

地質情報の探し方

GSJ データベースのご紹介

地質調査総合センターが提供するデータベースは以下のサイトからアクセスできます。

<https://www.gsj.jp/researches/geodb/>



GSJのウェブサイトで公開される研究成果物の利用条件は、政府標準利用規約（第 2.0 版）準拠です。クレジットを記載していただくことで、事前に許諾手続きなどを行わずに自由なご利用が可能です。詳しくは [GSJ ウェブサイトのライセンスのページ](#) をご覧下さい。

地質情報の探し方

本資料の使い方

-  データのダウンロードが可能
-  WMS / WMTS 配信対応 (*1)
-  スマートフォン対応
-  データの購入が可能

*1 本資料巻末に詳しい情報を掲載しています。
*2 一部のデータベースに掲載しています。

データベースの名称

対応言語・Language

ウェブサイトの URL

ウェブサイトの説明

データへの
アクセス方法

データの説明

問い合わせ

ライセンス・
使用上の注意

利活用事例 (*2)

URL の 2 次元
バーコード

利活用事例 専用のビューアを用意していますので、便利にご覧いただけます。

都市域の地質地盤図

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/urbangeol/>

概要

「都市域の地質地盤図」はボーリングデータ等をもとに都市域の地層の分布を3次元解析することによって作成した地質図です。地質図だけでなく、解析に使用したボーリングデータ等もあわせて公開します。

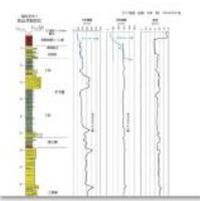
データへのアクセス方法

地質地盤図を表示。

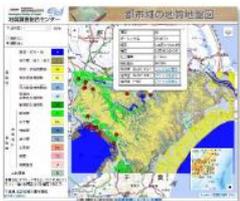


データの説明

基準ボーリングデータ
基準ボーリングデータとは、地層対比の軸となる基準データ整備を目的として、産総研が独自に行ったボーリング調査のデータです。



地質図(平面図)
本システムで表示される地質図(平面図)は、ボーリングデータ・露頭調査データ・地形区分データ等をもとに作成した3次元地質地盤モデル(数値データ)から描出したものです。



問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、urbangeol-ml(a)ist.go.jp まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい)。または地質調査総合センターお問い合わせ窓口 (<https://www.gsj.jp/inquiries.html>) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約(第2.0版)に準拠しています。
詳しくは [GSJの利用規約のページ](#) をご覧ください。



統合利用

地質図 Navi



【対応言語】 日、英

<https://gbank.gsj.jp/geonavi/>

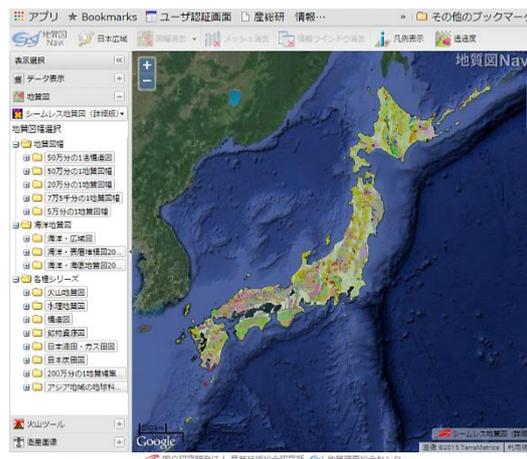


概要

地質調査総合センターから配信される数多くの地質図データを表示するとともに、活断層や第四紀火山などの地質情報を地質図と合わせて表示することが可能な地質情報閲覧システムです。

データへのアクセス方法

トップページの「地質図 Navi を表示」をクリック。



データの説明

地質図 Navi では地質調査総合センターで出版してきた数多くの研究成果を閲覧できます。表示することのできる地質情報は以下のようなものがあります。

- ・ 地球科学図
- ・ 地質系データベース
- ・ WMS 等配信データ

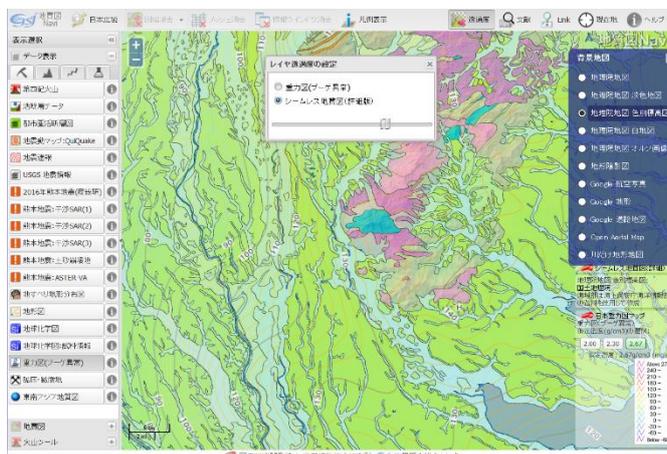
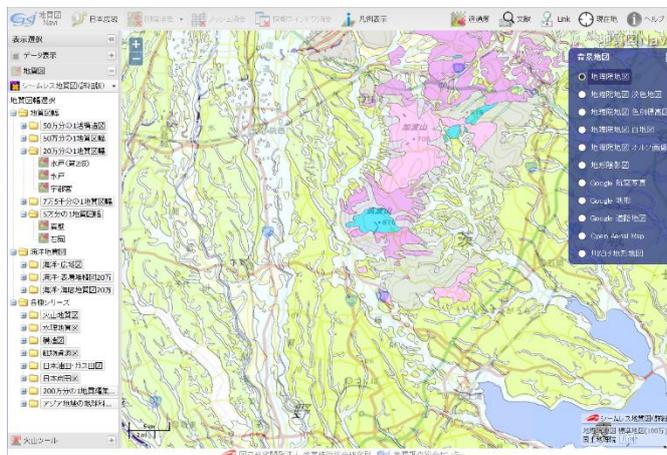
画面左側にあるパネルに、各種地質図・データごとのメニューが並んでいます。地図の表示範囲に合わせて選択できる項目は変わります。

地質調査総合センターの研究成果に限らず、他機関から公開されているオープンデータも表示できるようになっています。

右側のパネルからは背景地図を選択できます。

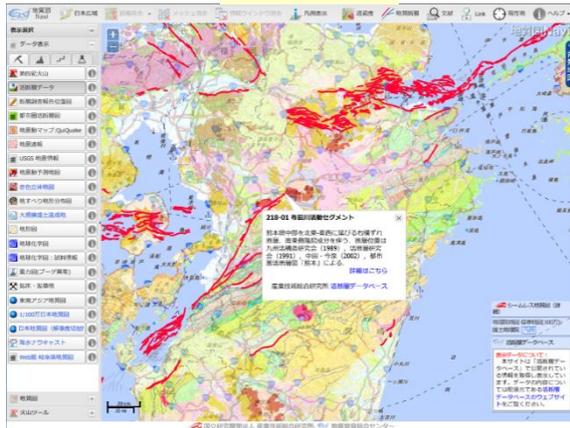
適宜、お好みの地質図・データと背景地図を組み合わせてください。地質図類は透過度を変更することもできます。

データの説明は、メニューの「i」ボタンで見ることができます。

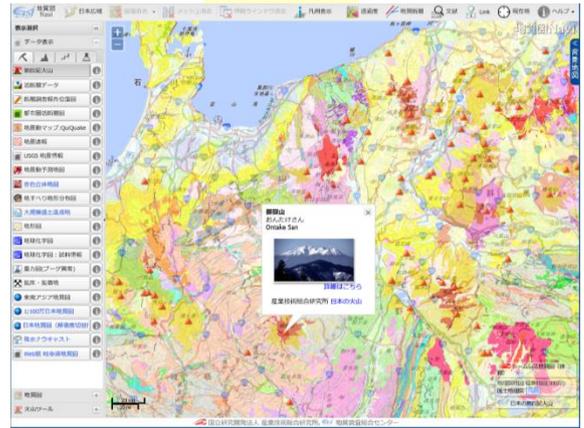


地質図 Navi では、各種の情報を重ね合わせた利用ができるようになっています。

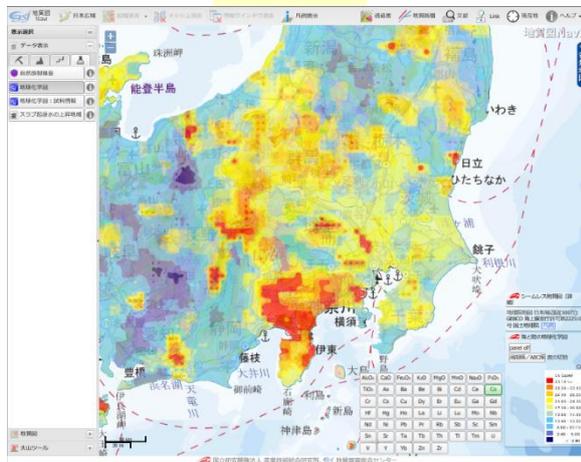
活断層データ



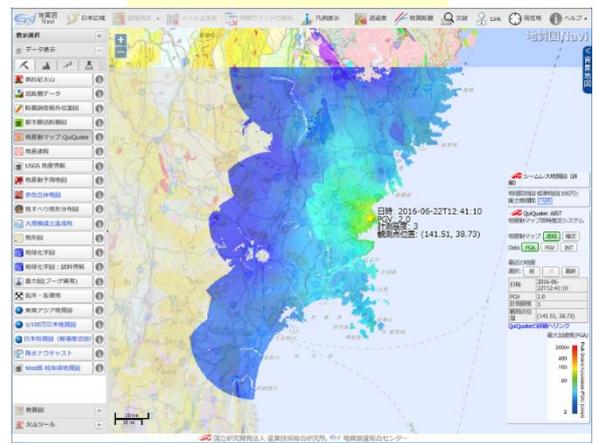
第四紀火山



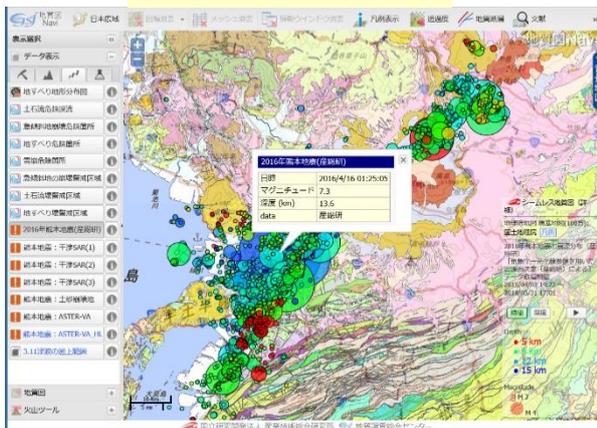
地球化学図



地震動マップ : QuiQuake



2016年熊本地震(産総研)



次の機能は「[簡単 使い方ガイド](#)」でご説明しています。

1. 背景地図の切り替え
2. シームレス地質図を見る
3. 地質図幅を見る
4. いろいろな地質情報を見る
5. 表示画面の例
6. メールやブログで場所と地質図を知らせる

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、地質調査総合センター お問い合わせ窓口 <https://www.gsj.jp/inquiries.html> から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。



陸域地質情報

関東平野の地下地質・地盤データベース



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/kantosubsurfacegeoDB/>



概要

関東平野の地下に分布する地層の、層序、物性、地質構造、埋没地形に関する研究・調査で得られたデータ、ボーリング柱状図、および各種地質モデルをご覧いただけるデータベースです。

データへのアクセス方法

本データベースでは、ページ左側のメニューから以下のコンテンツがご利用いただけます。

- 地質標準ボーリングデータ
- ボーリング調査とコア解析 (調査解析データ)
- 反射法地震探査データ
- ボーリングデータ処理システム(ソフトウェア)
- 文献

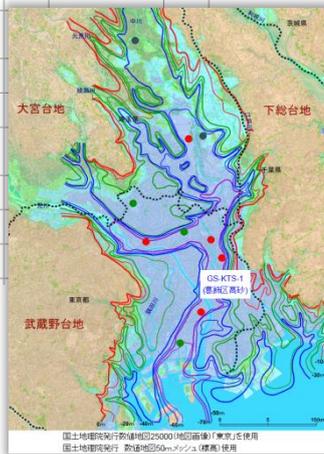
このスクリーンショットは、データベースのウェブサイトのトップページを示しています。左側のメニューには「HOME」、「地質標準ボーリングデータ」、「ボーリング調査とコア解析」、「反射法地震探査データ」、「ボーリングデータ処理システム」、「文献」などがリストアップされています。右側のメインコンテンツには「更新情報」の更新履歴と「概要」の紹介文が掲載されています。

データの説明

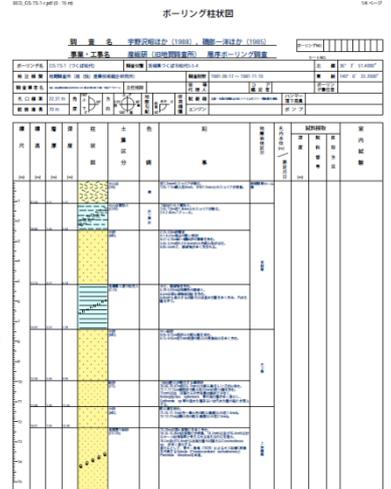
本データベースは、関東平野の地下に分布する第四紀の地層を対象として、層序、堆積物の物性、地質構造、埋没地形に関する研究・調査で得られたデータ、ボーリング柱状図、および各種地質モデルから構成されています。

■ 地点リストから検索

ボーリング名	住所	緯度・経度 (世界測地系)	総掘進長	ボーリング調査の実施機関	孔口標高
GS-KM-1(川越地区)	東京都江戸川区小松川	35°41' 45" 139°50' 57"	67.2	産業技術総合研究所	-1.99m
GS-SK-1(豊加地区)	埼玉県草加市柿木町	35°51' 33" 139°50' 37"			
DK(東京都土木技術研究所)	東京都江東区新砂	35°39' 59" 139°49' 31"			
HAI(東武線公園)	東京都足立区谷中	35°46' 17" 139°49' 49"			
TN(恋人公園)	東京都足立区古千谷	35°47' 54" 139°46' 17"			
GS-KNJ-1(墨田区新宿地区)	東京都墨田区新宿	35°45' 49" 139°51' 39"			
GS-KTS-1(墨田区高村地区)	東京都墨田区高村	35°44' 48" 139°52' 23"			
GS-AMG-1(足立区本木地区)	東京都足立区本木	35°45' 43" 139°47' 11"			



リストまたは地図から地点を選択



選択地点の詳細な情報が利用可能

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、地質情報研究部門 関東平野の地下地質・地盤データベース 担当 [kantochikadb-ml at aist.go.jp](mailto:kantochikadb-ml@ais.t.go.jp) まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい) 。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

地質図類データ ダウンロード



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/datastore/>



概要

地質調査総合センター発行の地質図の各種データ（図面ラスタースタイル・ベクトル、説明書 pdf）をダウンロードすることができます。

データへのアクセス方法

使い方：

i はダウンロードしたい図種を選択するためのラジオボタンです。いずれか一つを選択すると ii のダウンロードリストが表示されます。右端の v のダウンロードボタンを押してください。

- i 図種選択ラジオボタン
- ii 検索結果の表
- iii 検索フォーム
- iv 検索結果のヘッダ
- v ダウンロードファイルリスト
- vi ページナビゲーションリンク



データの説明

提供データの内容

- ラスタータータ：発行済の 5 万分の 1 地質図幅の 200dpi の地図画像データを jpeg, kml および geotiff 形式で提供します。後 2 者は 1 つのフォルダーにまとめて zip 圧縮ファイルで提供します。
- ベクトルデータ：発行済の 5 万分の 1 地質図幅の凡例に基づいて地質図部分を数値化したもので、シェープファイルと KML の形式で提供します。シェープファイルについては、凡例情報などを記載した表データを含みます。個々の詳細については、ダウンロードファイルに含まれる図幅ごとの readme のテキストファイルをご覧ください。
- ドキュメント：5 万分の 1 地質図幅説明書を pdf ファイルで提供します。



問い合わせ

ご質問・ご要望は、地質調査総合センターのお問い合わせ窓口、<https://www.gsj.jp/inquiries.html> の「[出版物に関するご質問](#)」からお願いします。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

地層名検索データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/strata/>



概要

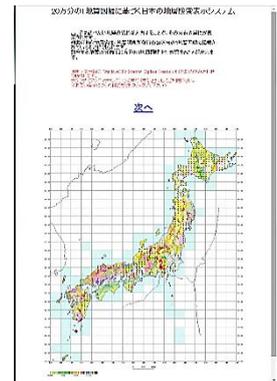
日本の地層・岩体の名称、模式地、分布、地質時代、文献など調べることができるデータベースです。同一地層名の提案をしないために、あるいは知らない地層名ができたときに、ご利用ください。

データへのアクセス方法

2通りの検索方法があります。



検索



地質図表示版

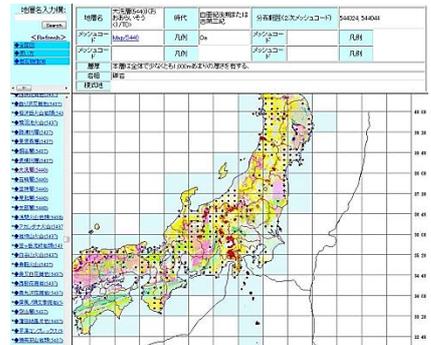
データの説明

本データベースでは、既存の資料（文献、辞書など）に記載されている地層名とその定義、内容などをデータベース化しています。

- 調べたい地層の名称を検索すると、その分布や属性が表示されます。
- 検索可能な地層名は、産業技術総合研究所発行の5万分の1地質図幅（地質図表示版では20万分の1地質図幅）に掲載されているものです。



検索



地質図表示版

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、[地層名検索データベースのお問い合わせフォーム](https://www.gsj.jp/inquiries.html)または地質調査総合センターお問い合わせ窓口 (<https://www.gsj.jp/inquiries.html>) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

20万分の1日本シームレス地質図データベース



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/seamless/>



概要

これまで出版されてきた20万分の1地質図幅の図郭における境界線の不連続を、日本全国統一の凡例を用いることによって解消した新しい地質図です。

従来の紙に印刷された20万分の1地質図幅では、作成した時代の地球科学観や作成者の違いなどによって、境界部で地質境界線や断層・褶曲構造が繋がっておらず、地質図幅ごとに凡例が異なっていることが普通です。各種地球科学情報の基図として地質図を利用していくために、日本全体を統一した凡例で再解釈し、つなぎ目をなくしてあります。さらに、数値化によって地理情報システム(GIS)の上での利用が可能となり、任意の範囲で情報を切り出すことができるほか、パソコン上で利用者のさまざまな目的に応じて地質データを取り扱うことが可能です。



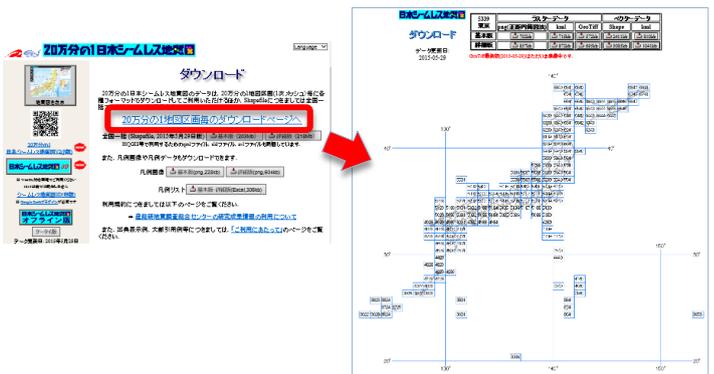
データへのアクセス方法

地質図を表示



ダウンロード

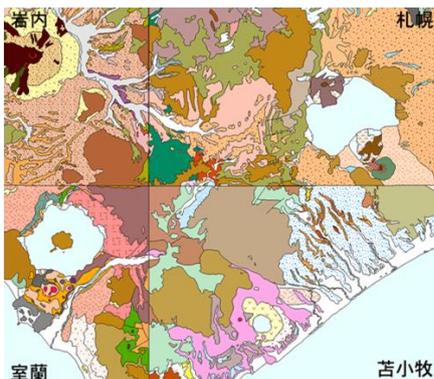
20万分の1地質図区画(1次メッシュ)でダウンロードしてご利用いただけます。また、凡例画像や凡例データもダウンロードできます。



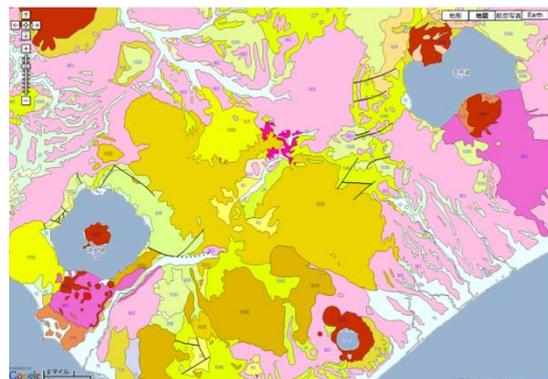
データの説明

GISで扱うことのできる日本全国の地質図です。他の情報と重ねて新たな活用が可能です。

もともとの20万分の1の地質図は地域ごとに凡例が異なるため、隣り合う図面同士が繋がらないですが、シームレス地質図は凡例を統一し、境目が無いため全国共通に使えます。

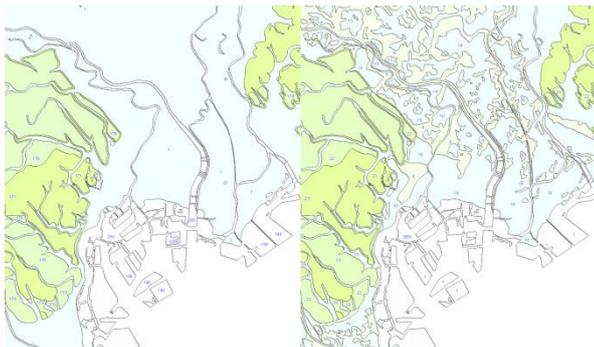


20万分の1地質図

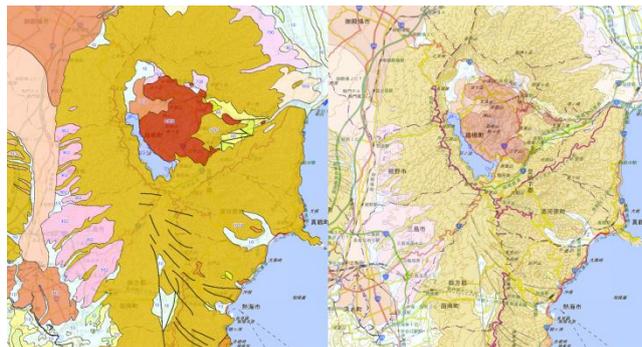


20万分の1シームレス地質図

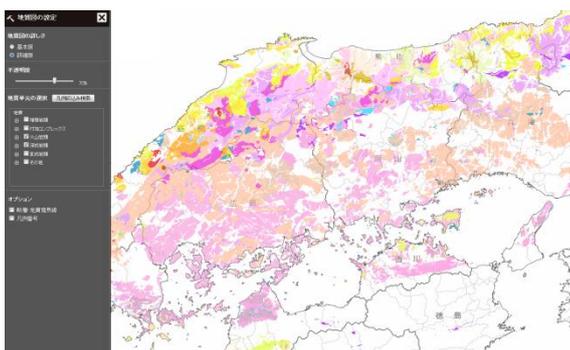
専用のビューアを用意していますので、便利にご覧いただけます。



◆基本版（左）と詳細版（右）の2種類



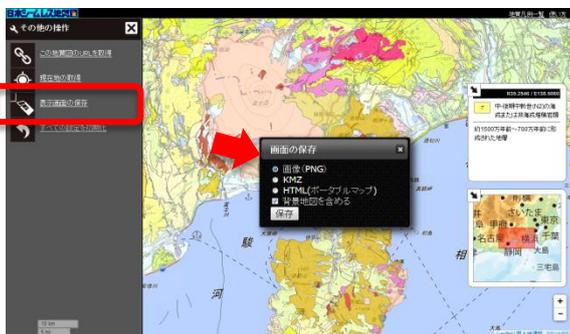
◆透明度を変える



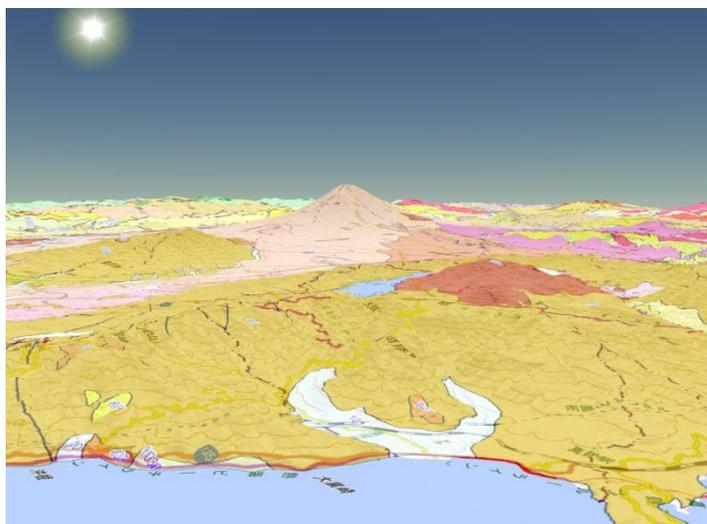
◆特定の地質のみを表示する



◆活断層を重ねる



◆表示した地質図の切り出し機能



◆3Dビューアによる立体表示

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、[seamless-db-ml at aist.go.jp](mailto:seamless-db-ml@aist.go.jp) まで電子メールでお送り下さい（at は、@に変更して下さい）。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。また、このデータベースで利用している基図の一部は、[国土地理院長の承認](#)を得て同院発行の電子地形図（タイル）を複製・減色して使用しています。この背景地図をさらに複製する場合には国土地理院の長の承認が必要です。



海洋地質情報

海域地質構造データベース

【対応言語】 日、英 独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/marineseisdb/>



概要

日本周辺海域で地質調査総合センターが行ってきた海洋調査の音波探査プロファイル画像を公開しています。表層から海底下深部の探査まで利用されます。

データへのアクセス方法

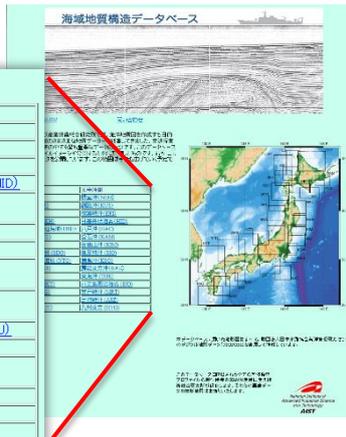
本データベースでは、メニューからお好みの海域を選んでいただくことで、

- ・測線の位置
- ・プロファイル

をご覧いただくことができます。

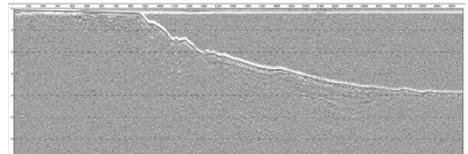
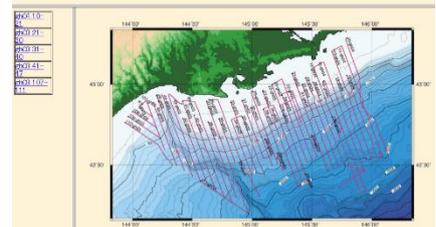
音波探査とは

日本海側	太平洋側
大塚沖 (TES)	根室沖 (NEM)
忍路漁山 (OSR)	釧路沖 (KUS)
石狩湾 (ISK)	樺太沖 (ERI)
種丹半島沖 (SKH)	日高半島沖 (HID)
奥尻島大島周辺海域 (OSH)	八戸沖 (HAC)
津軽西方 (WTG)	釜石沖 (KAM)
秋田沖 (AKT)	金華山沖 (KIM)
佐渡島周辺海域 (SDO)	塩屋崎沖 (SIO)
能登半島周辺海域 (NTO)	鹿島沖 (KSO)
若狭湾沖 (WKS)	尾総東方沖 (BAU)
鳥取沖 (TTR)	東海沖 (TOK)
博多北方沖 (HKT)	八丈島周辺海域 (SJO)
鹿児島沖 (KAG)	宮戸沖 (MRT)
オホーツク海	足摺沖 (ASZ)
オホーツク (OHT)	九州東方 (HYG)



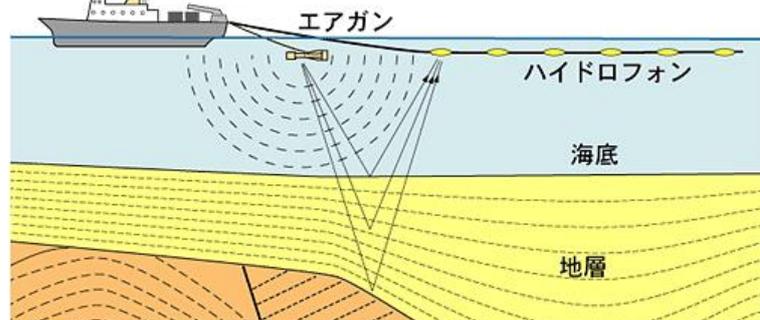
根室沖音波探査プロファイル 戻る

各測線のプロファイルの測線番号を左の表から選んでください。プロファイルは別ウィンドウで開きます。測線は、赤線が直、青線が曲です。



データの説明

音波探査とは、海底下の地質構造を明らかにするために広く用いられている調査手法で、海底油田探査や海底活断層調査には欠かせない手法です。原理は単純で、強力な音波パルス海面直下で発し、それらの海底及び海底下からの反射をとらえます。音波は海水中及び海底下の堆積物の中では減衰が小さいため、海底下深部まで音波が伝わり、地層面などで反射してきます。



問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、[海域地質構造データベースお問い合わせフォーム](https://www.gsj.jp/inquiries.html)または、地質調査総合センターお問い合わせ窓口 (<https://www.gsj.jp/inquiries.html>) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

高分解能音波探査断面 データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

https://gbank.gsj.jp/sbp_db/



概要

日本周辺海域で地質調査総合センターが行ってきた海洋調査の高分解能音波探査プロファイル画像を公開しています。海底表層付近の堆積作用や最近の断層活動の把握などに有効です。

データへのアクセス方法

本データベースでは、メニューからお好みの海域を選んでいただくことで、

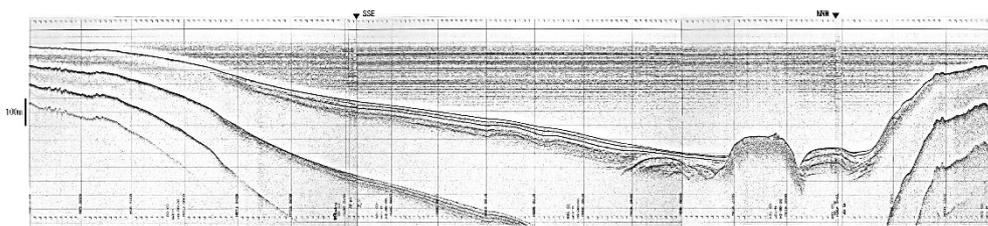
- ・測線の位置
- ・プロファイル
- ・位置データ

をご利用いただくことができます。

The screenshot shows the database interface. On the left is a list of 24 survey areas, with the first four highlighted in a red box. In the center is a map of Japan with survey lines numbered 1-24. On the right, a detailed profile view is shown with a red box around the '測線' (Survey Line) dropdown menu, which is set to 'GH892'. Below the profile is a table of data points. Red arrows indicate the flow from the list to the map, and from the map to the profile view.

データの説明

3.5kHz SBP（サブボトムプロファイラー）は音波探査の一種で、航走する調査船から3.5kHzの音波を発信し、海底および海底下からの反射音によって連続的な地質断面イメージを得るシステムです。エアガン等比べて高い周波数の音源を用いるため、海底下の探査深度は小さいが分解能が高いという特徴があります。このため海底表層付近の堆積作用や最近の断層活動の把握などに有効です。



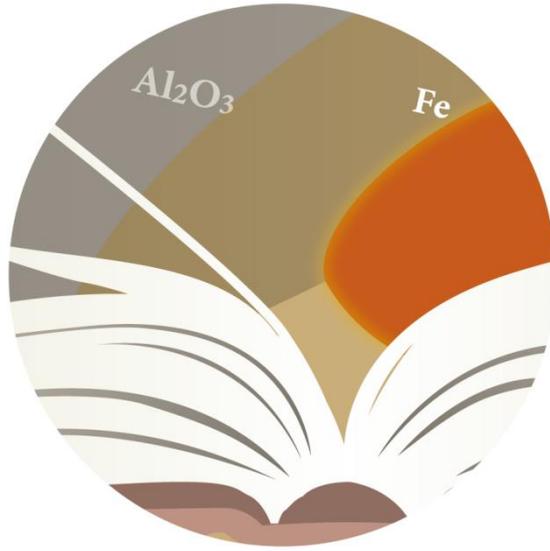
能登半島西方沖の地質断面イメージの例

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、[sbp-db-ml at aist.go.jp](mailto:sbp-db-ml@aist.go.jp) まで電子メールでお送り下さい（at は、@に変更して下さい）。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第2.0版）に準拠しています。
詳しくは [GSJの利用規約のページ](#) をご覧ください。



出版物・文献

貴重資料データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/rarebook/>



概要

主に明治時代から戦前に出版された報告類のデータベースです。PDF 形式及び KmView 形式によりフルテキストの閲覧ができます。これらの報告類はすべて産総研地質調査総合センターで所蔵しています。

データへのアクセス方法

以下の3通りの検索方法があります。

- ・キーワード入力検索
- ・地図範囲指定検索
- ・シリーズ一覧リストからの検索

詳しくは「[操作ガイド](#)」を参照してください。



データの説明

本データベースでは、主に明治時代から戦前にかけての出版物である「地質調査所特別報告」や「地質要報」などの貴重な資料を検索できます。

検索結果は、資料名・巻・号・発行年の条件、昇・降順でソートできます。

全ての資料の内容が、PDF 画像あるいは KmView 画像にて閲覧できます。



問い合わせ

このデータベースに関するお問い合わせは、地質文献データベース お問い合わせフォーム https://gbank.gsj.jp/rarebook/mail_form/index.html から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

地質図カタログ



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://www.gsj.jp/Map/>

概要

地質調査総合センター発行の地質図類を網羅したカタログです。HTML版とPDF版があります。

<https://www.gsj.jp/Map/index.html>

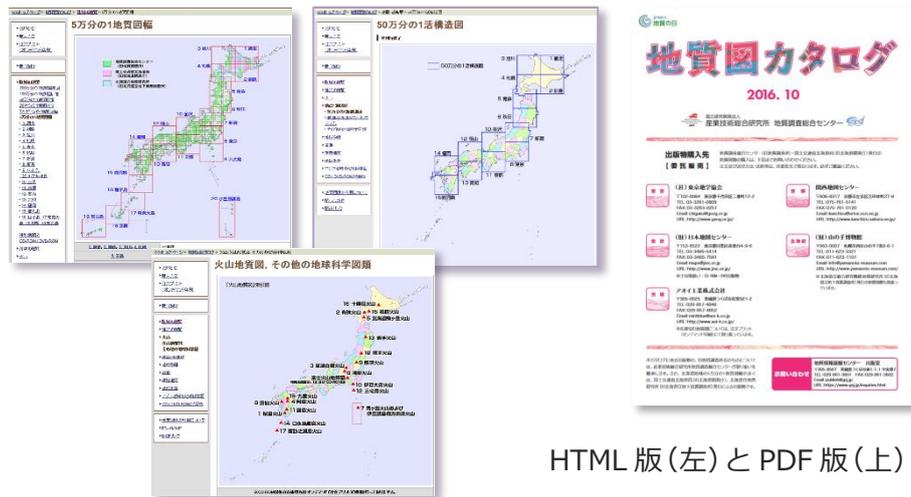
https://www.gsj.jp/Map/pdf_catalogue/geomap-catalogue-jp.pdf

データへのアクセス方法

地質図類にはシリーズと呼ばれる様々な種類があります。

HTML版ではカテゴリ別のメニューから目的とする地質図を選びます。一部では地図から選択することもできます。

PDF版では、ページごとに同じカテゴリの地質図・データベースの情報が掲載されています。



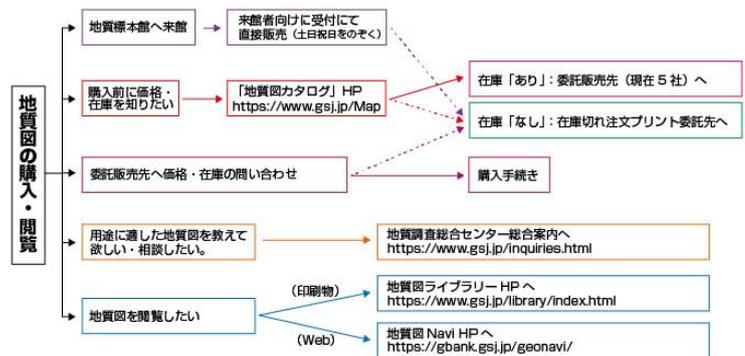
HTML版(左)とPDF版(上)

データの説明

地質図を購入する際に必要な情報を掲載しています。また、HTML版の一部では、電子データを直接ダウンロードすることもできます(順次整備中)。

	筑紫山 11-048 発行年:1955 / 説明書:1954 な摩切(注文オプション)	<ul style="list-style-type: none">ラスターデータ (JPEG / 200dpi / 3.5 MB)ラスターデータ (GeoTIFF, kml / 200dpi / 38 MB)ベクターデータ (Shapfile, kml / 5.5 MB)説明書 (PDF / 833 MB)
	神戸 11-049 発行年:1983 (3刷):1995 販売価格:3,240	<ul style="list-style-type: none">ラスターデータ (JPEG / 200dpi / 3.3 MB)ラスターデータ (GeoTIFF, kml / 200dpi / 38 MB)ベクターデータ (Shapfile, kml / 4.2 MB)説明書 (PDF / 19 MB)
	太阪西北部 11-050 発行年:1982 (2刷):1995 販売価格:¥2,265	<ul style="list-style-type: none">ラスターデータ (JPEG / 200dpi / 3.0 MB)ラスターデータ (GeoTIFF, kml / 200dpi / 34 MB)ベクターデータ (Shapfile, kml / 3.6 MB)説明書 (PDF / 16 MB)
	太阪東北部 11-051 発行年:2001 販売価格:¥4,100	<ul style="list-style-type: none">ラスターデータ (JPEG / 200dpi / 4.0 MB)ラスターデータ (GeoTIFF, kml / 200dpi / 35 MB)ベクターデータ (Shapfile, kml / 28.9 MB)説明書 (PDF / 2.9 MB)
	奈良 11-052 発行年:2000 販売価格:¥3,995	<ul style="list-style-type: none">ラスターデータ (JPEG / 200dpi / 3.7 MB)ラスターデータ (GeoTIFF, kml / 200dpi / 38 MB)ベクターデータ (Shapfile, kml / 12 MB)説明書 (PDF / 4.4 MB)
	上野 11-053 発行年:1996 販売価格:¥4,320	<ul style="list-style-type: none">ラスターデータ (JPEG / 200dpi / 3.4 MB)ラスターデータ (GeoTIFF, kml / 200dpi / 36 MB)ベクターデータ (Shapfile, kml / 11 MB)説明書 (PDF / 6.3 MB)

地質図の情報とダウンロードデータの例



地質図類の購入フローチャート

問い合わせ

このデータベースに関するお問い合わせは、<https://www.gsj.jp/Map/JP/pub-inquiries.html> から地質情報基盤センター出版室までお願いします。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約(第2.0版)に準拠しています。ただし、印刷物・メディア類の二次利用は、CC BY-NDとなります。詳しくは[GSJの利用規約のページ](#)をご覧ください。

統合版地質文献データベース (Integrated GEOLIS)

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/geolis/>

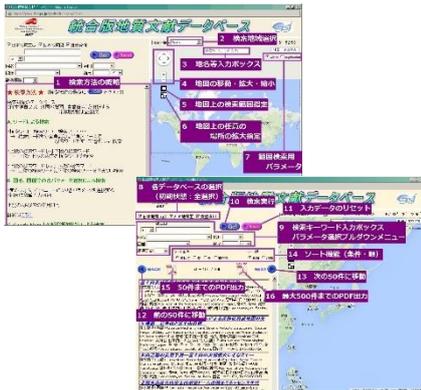


概要

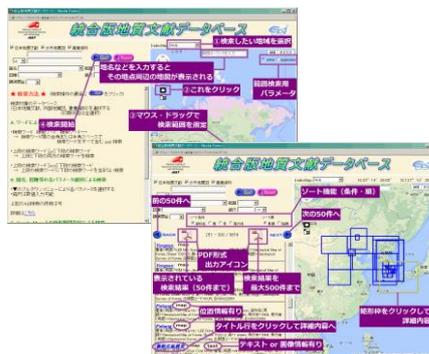
地質調査総合センターが旧地質調査所時代から収集・所蔵している資料・地質図類から、日本地域及び日本人著者の文献、世界の地質図類の書誌情報を登録したデータベースです。

データへのアクセス方法

【キーワード・地図検索】と、【地図無し検索】があります。

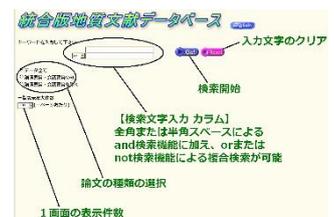


キーワード入力



地図範囲指定検索

(位置情報があるもののみ)



地図無し検索

データの説明

検索結果として、論文題名・著者・資料名・巻・号・発行年・発行者などが表示されます。

このうち、map マークがあるものは右側の地図上に矩形範囲が図示されます。また、text マークがあるものは、文献などのフルテキスト (PDF 文書あるいは画像等) が閲覧できます。

検索結果を PDF で保存することも可能です。

オンライン限定のものを除き、検索された文献類は、茨城県つくば市にある産総研のライブラリーでご覧いただくことが可能です。



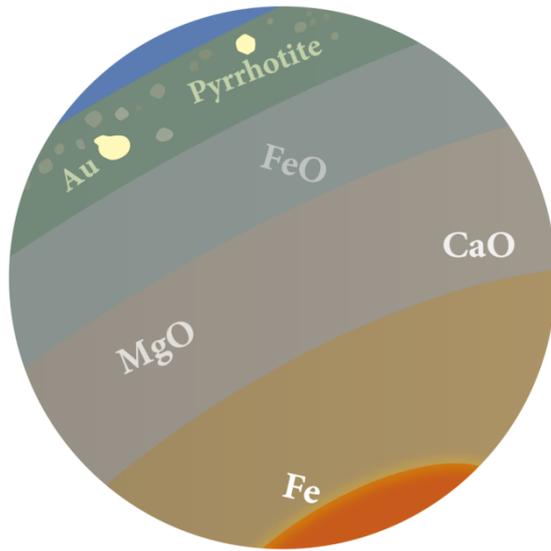
検索結果イメージ

問い合わせ

このデータベースに関するお問い合わせは、地質文献データベース お問い合わせフォーム https://gbank.gsj.jp/rarebook/mail_form/index.html から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。



地震・活断層

活断層データベース



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/activefault/>

概要

日本全国の活断層に関する情報を、公表文献から収集したデータベースです。活断層がどこにあるのか、それぞれの活断層がどのような性質を持っているのかを調べることができます。

データへのアクセス方法

活断層データベースには 4 種類の検索方法があります。



トップページ 画面左側の4つのボタンから検索を開始します。

- (1) [起震断層・活動セグメント検索](#)
個別の活断層の情報を検索できます。
- (2) [活断層関連文献検索](#)
活断層に関する論文や報告書を検索できます。
- (3) [調査地検索](#)
活断層の調査地点の情報を検索できます。
- (4) [産総研による活断層調査](#)
産総研で実施した活断層調査と公表した成果を検索できます。

データの説明

このデータベースでは次のようなデータがご利用いただけます。

- ・ 日本全国の活断層（活動セグメント）の分布とそのパラメータ
- ・ 日本の活断層に関係する文献の書誌データ
- ・ 文献から採録された、調査地点ごとの調査結果データ

また、用語解説やよくある質問のページも、活断層の理解にご活用いただけます。



活動セグメント番号	活動セグメント名	一般走向	一般傾斜	長さ [km]	断層型	変位の向き (隆起側)	平均変位速度 [m/千年]	単位変位量 [m]	平均活動間隔 [千年]	最新活動時期(西暦) 野外調査結果	対応歴史地震	地震後経過率	BPT分布モデル	ボアマン過程モデル	活動セグメントの概要とパラメータ代表値	調査地	変位	イベント
070-01	立川	N 40°W	90 ° V	34	左横ずれ	E	0.3	4.0	13.0	-11645 ~ -10943 年		1.01	0.6	0.2	●	●	●	
071-01	鶴川	N 50°W	90 ° V	58	右横ずれ	N	0.0								●	●	●	
072-01	福山	N 80°E	45 ° N	20	逆	N	0.1	2.3	23.0					0.1	●	●	●	
073-01	伊勢原	N 10°W	50 ° E	21	逆	E	0.5	2.4	4.6	489 ~ 1707 年		0.20	0	0.7	●	●	●	
296-01	武蔵五日市	N 40°W	60 ° W	12	逆	W	0.0								●			

「-」: 特定不能データ

検索した活断層の位置と、詳細な情報のリストの例。

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、[活断層・火山研究部門 問い合わせフォーム](#) から電子メールでお送り下さい。正しい理解のために、「[ご利用にあたって](#)」のページもお読みください。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

(QuiQuake シリーズ) 地震動マップ(速報) / QuickMap



【対応言語】 日、英

<https://gbank.gsj.jp/QuiQuake/QuickMap/>



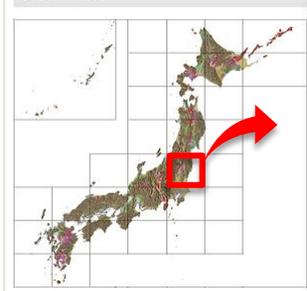
概要

地震直後に公開される記録から、日本全国の地震動マップを推定して公開するシステムです。QuiQuake は地震観測記録の公開基準の違いによって 2 種類のマップ (QuickMap と QuakeMap) を提供します。このうち QuickMap は地震動の速報版です。

データへのアクセス方法

以下の 2 通りから選択が可能です。

地図から探す



地図から探す

日時	PGV	計測震度	観測点位置
2015-05-21T02:01	0.1 [m/s]	1.3	(140.49, 36.16)
2015-05-21T01:06	4.5 [m/s]	3.7	(139.33, 36.41)
2015-05-21T10:57	0.7 [m/s]	1.8	(140.41, 36.55)
2015-05-21T14:28	12.1 [m/s]	4.9	(140.49, 36.16)
2015-05-21T01:25	0.1 [m/s]	0.8	(140.17, 36.54)
2015-05-21T10:08	0.1 [m/s]	0.7	(140.65, 36.35)
2015-05-15T12:30	4.1 [m/s]	3.9	(140.81, 37.34)
2015-05-15T04:11	0.2 [m/s]	1.4	(140.49, 36.16)
2015-05-13T22:45	2.4 [m/s]	3.4	(140.65, 36.59)
2015-05-21T14:53	1.4 [m/s]	2.9	(139.91, 36.07)
2015-05-03T13:02	2.4 [m/s]	3.1	(140.98, 37.64)
2015-04-25T03:23	0.2 [m/s]	1.5	(140.65, 36.59)
2015-04-21T06:31	0.3 [m/s]	1.5	(141, 37.23)
2015-04-21T02:23	1.0 [m/s]	2.2	(140.65, 36.59)

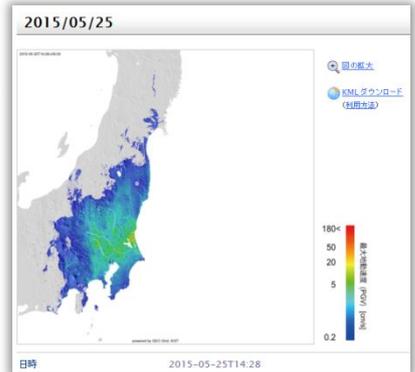
日付から探す

May . 2015

<<< << < Today > >> >>>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1 (1)	2 (2)
3 (4)	4 (1)	5	6 (1)	7 (1)	8 (2)	9
10 (1)	11	12 (2)	13 (3)	14 (2)	15 (2)	16
17 (2)	18	19 (3)	20 (3)	21 (3)	22 (1)	23
24 (2)	25 (1)	26 (1)	27 (2)	28 (1)	29 (1)	30 (4)
31 (1)						

日付から探す



データの説明

QuickMap

防災科学技術研究所の即時公開データを取得し、10ヶ所以上の観測点で揺れた場合について、もうひとつのサービスである QuakeMap よりも迅速に地震動マップを計算し、公開します。地震動を素早く知りたい場合は、こちらをご利用ください。PNG ファイル、GeoTIFF ファイル、さらに KML ファイルの地震動マップを公開しています。

ファイルフォーマット

- * PNG ファイル
- * GeoTIFF ファイル (PGA,PGV,INT)
- * Text ファイル
- * KML ファイル (KML ファイルを閲覧するためには、Google Earth などの KML 表示プログラムが必要です。)

QuickMap と QuakeMap では地震動推定の方法が少し違います。詳しくは「[手法](#)」のページでご確認ください。

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、[QuiQuake-ml at aist.go.jp](mailto:QuiQuake-ml@nist.go.jp) まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい)。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

(QuiQuake シリーズ) 地震動マップ(確定) / QuakeMap



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/QuiQuake/QuakeMap/>



概要

地震直後に公開される記録から、日本全国の地震動マップを推定して公開するシステムです。QuiQuake は地震観測記録の公開基準の違いによって 2 種類のマップ (QuickMap と QuakeMap) を提供します。このうち QuakeMap は地震動の確定版です。

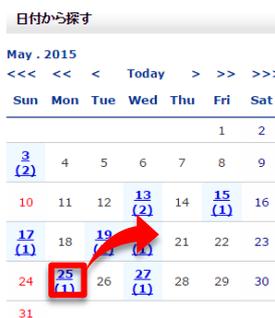
データへのアクセス方法

以下の 2 通りから選択が可能です。

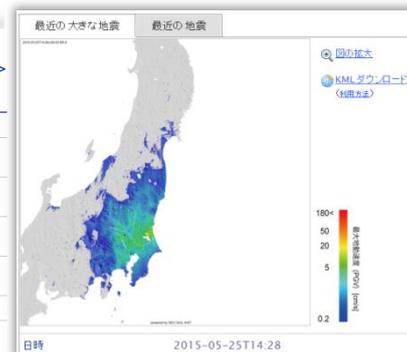


地図から探す

日時	マグニチュード	震源の深さ	震央
2011-01-25T14:28	M5.6	50 [km]	(139.6, 36.1)
2011-05-19T06:05	M3.5	10 [km]	(140.6, 36.7)
2011-05-15T12:30	M5.1	50 [km]	(141.2, 37.1)
2011-05-13T22:45	M4.2	50 [km]	(140.5, 36.6)
2011-05-03T15:54	M4.4	50 [km]	(139.9, 36.1)
2011-05-03T13:03	M4.8	40 [km]	(141.6, 37.5)
2011-04-16T16:38	M4.1	50 [km]	(141, 36.7)
2011-01-25T16:26	M3.9	50 [km]	(139.8, 36.2)
2011-01-24T13:53	M4.6	70 [km]	(140.1, 36.3)
2011-01-12T20:02	M4.8	40 [km]	(141.7, 37.3)
2011-01-23T18:11	M4.2	40 [km]	(141.1, 37.1)
2011-01-03T04:55	M3.7	60 [km]	(140.6, 36.5)



日付から探す



データの説明

QuakeMap

防災科学技術研究所の強震観測網の K-NET、KiK-net で観測された地震記録のうち、FTP サイトにて公開しているデータを利用しています。震度が 3 以上の地震については地震後速やかに公開されるデータを、それ以外の地震については約 1 ヶ月後に公開されるデータを用いて計算されます。また、公開済みデータがアップデートされた場合にも逐次計算結果をアップデートします。1996 年 6 月以降の主な地震について、PNG ファイル、GeoTIFF ファイル、さらに KML ファイルの地震動マップを公開しています。

ファイルフォーマット

- * PNG ファイル
- * GeoTIFF ファイル (PGA,PGV,INT)
- * Text ファイル
- * KML ファイル (KML ファイルを閲覧するためには、Google Earth などの KML 表示プログラムが必要です。)

QuickMap と QuakeMap では地震動推定の方法が少し違います。詳しくは「[手法](#)」のページでご確認ください。

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、[QuiQuake-ml at aist.go.jp](mailto:QuiQuake-ml@aisg.go.jp) まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい)。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

(QuiQuake シリーズ) 液状化危険度マップ(速報) / LiquickMap



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/QuiQuake/LiquickMap/>



概要

地震直後に公開される記録から、日本全国の液状化発生の危険度を推定して公開するシステムです。QuickMap と微地形区分に基づき、液状化発生率を推定した液状化危険度マップを作成します。

データへのアクセス方法

LiquickMap

PNG ファイル、GeoTIFF ファイル、KML と KMZ ファイルとして公開しています。

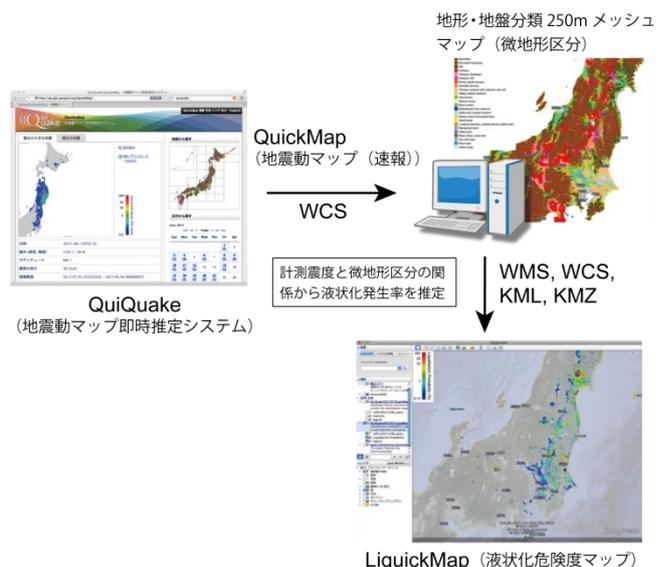
各ファイルはトップページのリストから選択できます。

	日時	データダウンロード(ファイルフォーマットについて)				QuiQuake
	2014-11-22T22:08	PNG	KML	KMZ	GeoTIFF	
	2014-07-28T17:05	PNG	KML	KMZ	GeoTIFF	
	2013-09-20T02:24	PNG	KML	KMZ	GeoTIFF	
	2013-04-13T05:32	PNG	KML	KMZ	GeoTIFF	

データの説明

液状化発生のしやすさはその地域の地盤条件によって異なり、概略的には微地形区分によって評価できます。また、地震の揺れの大きさによっても液状化発生のしやすさは異なるため、地震時の計測震度と微地形区分の関係から液状化発生率を推定できます。

本システムでは、地震後に QuiQuake (地震動マップ即時推定システム) にて推定した QuickMap (地震動マップ(速報)) に含まれる計測震度の値を WCS (Web Coverage Service) あるいは GeoTIFF にて取得し、震度 5 強以上の地域が推定された場合に、計測震度と地形・地盤分類 250m メッシュマップの微地形区分と重ね合わせて液状化発生率を計算します。



本システムの概要

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、[QuiQuake-ml at aist.go.jp](mailto:QuiQuake-ml@ais.t.go.jp) まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい)。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

地震に関連する地下水観測データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/wellweb/>



概要

地震予知研究を目的に観測・解析を行っている 50 ヶ所あまりの観測点の地下水位、歪、水温、地震波形などの最新データおよび関連情報をご覧いただけるデータベースです。

データへのアクセス方法

トップページの「最新データ表示システム」からアクセスできます。

地下水・歪データ表示



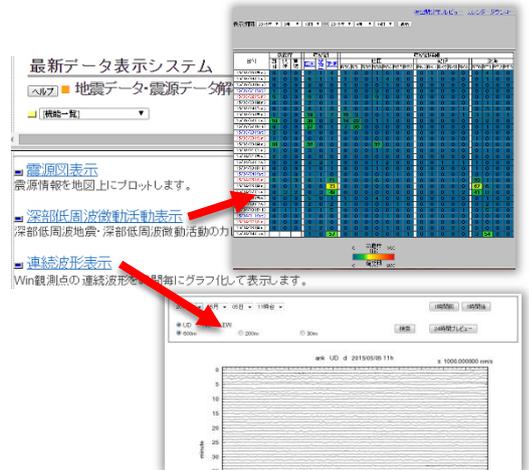
地下水・歪データ

最新データ表示システム

■ 地下水・歪データ(リスト形式)

- ★静岡・愛知
 - 01 豊原(静岡県牧野市、静岡県原(旧:草薙、静岡県静岡市)) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 02 大塚・小笠(静岡県菊川市)、御前崎(静岡県御前崎市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 03 浜岡(静岡県浜岡市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 04 掛川(静岡県掛川市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 05 豊橋(愛知県豊橋市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 06 豊橋多米(旧:豊橋東、愛知県豊橋市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 07 豊田神前(旧:豊田下山、愛知県豊田市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 08 豊橋東町(愛知県豊橋市) (2年組:3ヶ月・12日組)
- ★紀伊半島
 - 01 津安濃(旧:安濃、三重県津市)、北勢(三重県いなべ市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 02 松原高島(旧:高島形、三重県松原市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 03 紀北、海山(旧:海山、三重県紀北町) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 04 地味高島(旧:高島、三重県地味町) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 05 田辺半宮(旧:半宮三越、和歌山県田辺市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 06 串本津町(和歌山県串本町)、勝浦(和歌山県那智勝浦町) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 07 岩出喜振本(旧:喜振、和歌山県岩出市)、広川(広川町)、日高町(日高町) (2年組:3ヶ月・12日組)
- ★四国
 - 01 徳門大原(旧:徳家、徳島県徳門町) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 02 阿南高野(徳島県阿南市) (2年組:3ヶ月・12日組)
 - 03 新居浜風島(愛媛県新居浜市) (2年組:3ヶ月・12日組)

地下水・歪データ (リスト形式)



地震データ・震源データ解析

データの説明

産業技術総合研究所では地震予知研究を目的として、地殻変動と地下水変動の関連を把握するために、地下水観測を 1976 年以來継続しています。古文書、言い伝え等により地震前兆現象としての地下水異常は数多く報告されています。そこで、産業技術総合研究所では東海地震の危険性が指摘されて以来、それまでの研究成果を元にして、東海地域に地下水位、温泉等の自噴量、水質、ラドン濃度等の観測網を整備しました。近畿地域およびその周辺地域においては、1995 年兵庫県南部地震の後に 30 以上の観測井を主に活断層周辺に掘削し、地下水観測網を整備して観測を継続しています(図 1)。これらの観測井からのデータは電話回線を利用して通信し、産業技術総合研究所で監視を行っています。また、東海地域の一部のデータは気象庁に転送され、東海地震予知のための監視データとして利用されています。

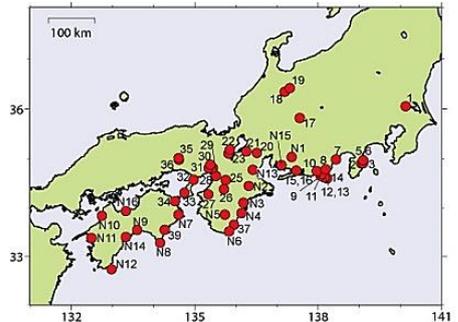


図 1 観測井配置図

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、[Wellweb-ml at aist.go.jp](mailto:Wellweb-ml@aisst.go.jp) まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい)。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約(第 2.0 版)に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

地下構造可視化システム

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/subsurface/>



概要

日本の地下構造を、物性値（弾性波速度）の三次元的な分布で見るためのシステムです。地殻や上部マントルを概観する規模の物性値構造と様々な地質情報とを併せて表示できます。

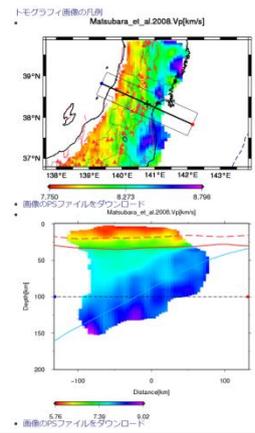
データへのアクセス方法

簡易版ではあらかじめ設定された測線を選んで、オンデマンド版では任意の測線をひいて、地下構造を描画することができます。

簡易版



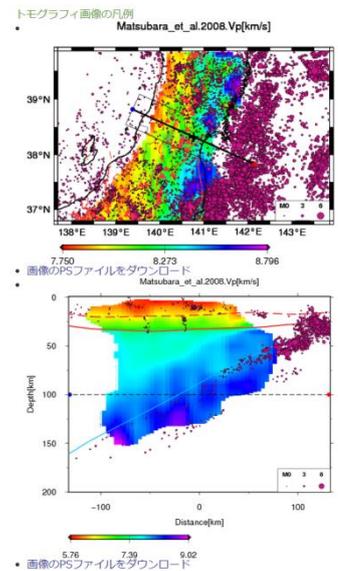
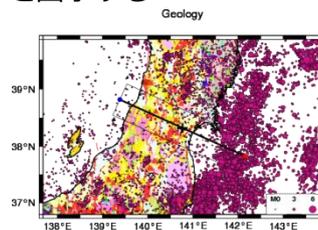
オンデマンド版



データの説明

地下構造可視化システムは、活断層の地下構造として3次元の物性値（現時点では弾性波速度のみ）の分布を「見る」ためのシステムです。地殻や上部マントルを概観するような大スケールの構造を扱います。そのようなスケールでは穴を掘って実際に見るわけにいかないの、ここで言う「見る」(=可視化)は、自然地震の記録を用いた地震波トモグラフィによる地下構造の推定イメージを図示することを指しています。

オンデマンド版では任意の測線を設定できるほか、詳細な描画設定が可能です。



さまざまな設定による描画の例。

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、[活断層・火山研究部門 問い合わせフォーム](#) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

津波堆積物データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

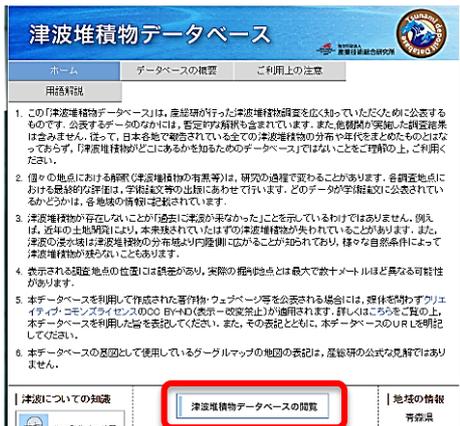
https://gbank.gsj.jp/tsunami_deposit_db/



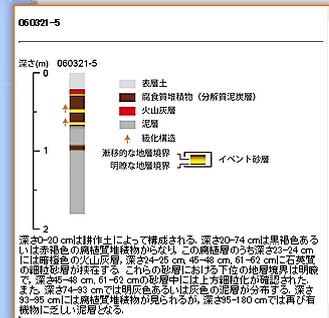
概要

産総研が行った津波堆積物の調査結果や研究過程を、ウェブ上で誰でも閲覧できるようにしたデータベースです。

データへのアクセス方法



地点をクリックするとその場所の地質柱状図を閲覧可能



データの説明

津波堆積物の調査は、地形判読などによって調査地点を決定し、その決定した場所で柱状堆積物試料を採取し、多くの試料に対する分析結果などを総合的に判断して行います。普通は、すべての分析が終わってから結果を公表しますが、それには多くの時間がかかってしまいます。そこで、調査の経過を知っていただくため、またなるべく早く研究成果を届けるために、以下のようにいくつかの種類にわけてデータを公表することにしました。

- (1) 【掘削地点の位置情報のみ】 津波堆積物を見つけるために掘削調査をした場所の情報。
- (2) 【掘削地点の位置情報と調査の結果】 津波堆積物の有無を決める根拠となる柱状堆積物試料の情報。場合によっては、津波堆積物の候補となる地層（イベント堆積物）に関する情報もつける。
- (3) 【掘削地点の位置情報と、産総研の解釈による津波堆積物の有無】

注：(3)については、外部査読付き論文に掲載されたもの、外部査読付き論文に掲載されていないが、産総研の担当職員が津波堆積物の有無を判断したものの、2種類のデータが存在します。外部査読付き論文によって担保されたデータかどうかについては、各地域の解説ページに掲載されています。

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、「[津波堆積物データベースお問い合わせフォーム](#)」から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第2.0版）に準拠しています。詳しくは [GSJの利用規約のページ](#) をご覧ください。



火山

第四紀噴火・貫入活動データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<http://gbank.gsj.jp/quatigneous/>



概要

第四紀に活動した火山、および第四紀に貫入・固結し、その後の隆起・侵食作用によって地表に露出した貫入岩体を整備したデータベースです。

データへのアクセス方法

約 260 万年前から現在までの時代「第四紀」に起きた噴火活動に関する年代情報、噴火事例を基にした噴火影響評価のためのツールなどを提供しています。

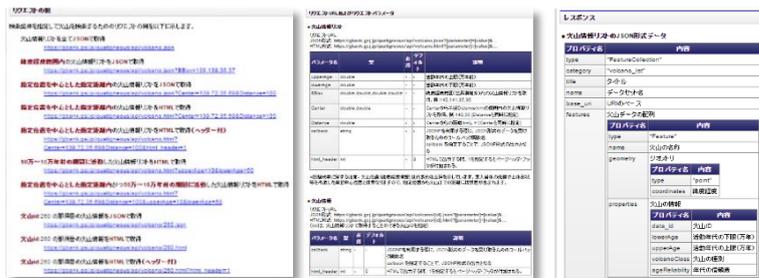


項目	内容
火山・岩体名	茂世路岳
火山・岩体名(よみ)	もよろだけ
形式・構造	カルデラ形成台地、複成火山
活動年代	カルデラ形成は数万年前 最新噴火:1900年
下限(万年)	5
上限(万年)	0
年代信頼度	C
主な岩石	デイサイト、安山岩、玄武岩
火山ID	2
種別	第四紀(旧定義)
json	json
参照情報	茂世路岳 日本の火山(第3版): LINK



データの説明

「第四紀火山岩体・貫入岩体データベース」(西来ほか(編)2012)のデータを基に、「第四紀」に活動した火山および、「第四紀」に貫入・固結し、その後の隆起・侵食作用によって地表に露出した貫入岩体を整備したものです。JSON あるいは HTML 形式でリストを取得することができます。



リクエストの例

リクエスト URL および
リクエストパラメータ

レスポンス



この影響範囲表示プログラムでは、マグマ溜まり形成による地殻変形範囲(シルモデル)と大規模火砕流の到達範囲(サブ臨界火砕流モデル)を、各カルデラに対して、既存の文献から取得したカルデラ噴火事例の値を参考値として利用しながら、影響範囲の計算をすることができます。

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、<https://unit.aist.go.jp/ievq/> 最上部の「お問い合わせ」または [ievq-webmaster-ml at aist.go.jp](mailto:ievq-webmaster-ml@aisg.go.jp) (at を@に置き換えて下さい) へ、必要事項を記載の上、電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約(第 2.0 版)に準拠しています。詳しくは [GSJの利用規約のページ](#) をご覧ください。各データは、収録されたそれぞれの文献に帰属します。個々のデータをご利用の際には、特に年代値に関する誤差や信頼度について、原著を確認していただきますようお願いいたします。

日本の火山データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/volcano/>



概要

第四紀（約 260 万年前から現在まで）に活動した火山を網羅するとともに、特に 1 万年前以降に活動した活火山の噴火履歴や文献情報を収録したデータベースです。

データへのアクセス方法

データ全体へは、以下の 3 通りからアクセス可能です。活火山は個別データリストから選択できます。

①火山名称から探す

②火山分布図から探す

③日本地図から探す

活火山のリスト

データの説明

第四紀火山（約 260 万年前から現在までの時代、“第四紀”に噴火してできた火山に関する簡単な情報。活火山を含む）

活火山 第四紀火山のうち、約 1 万年前以降に活動した、あるいは現在、噴気活動が活発な火山に関する詳しい情報）

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、「[お問い合わせフォーム（日本の火山）](#)」から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。ただし、本 DB 内で使われている写真・図などの一部には第三者機関や個人の著作物を用いています。これらは CC ライセンスの対象ではありませんので、ご利用の際はお問い合わせください。なお、印刷物・CD-ROM の火山地質図類のライセンスは CC BY-ND です。



地球物理

岩石物性値データベース (PROCK)

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/prock/>

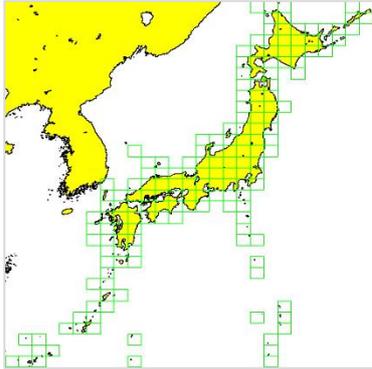


概要

文献・資料から収集した日本の岩石物性値を、統一的に数値化・編集し、まとめたデータベースです。岩石物性は、岩石の地質学的な属性と物理的な属性を結びつけるもので、地下の物理構造を地質学的に解釈するために不可欠な情報です。

データへのアクセス方法

以下の2通りから選択が可能です。



一次メッシュによる検索 (位置図)

キーワードと地域を指定して、SEARCHをクリックしてください。

キーワードの指定 (岩石名、採取県名、岩石時代などを指定できます。)

1. 注) 例えば、深成岩とだけ指定すると
2. 半深成岩も検索されてしまいますので
3. 深成岩のみにしたい場合には、@深成岩
4. と指定してください。(@は半角)
5.

AND OR

地域の指定 (検索する地域を指定できます。指定しないと全国になります。)

左下	北緯	<input type="text"/>	度	<input type="text"/>	分	右上	北緯	<input type="text"/>	度	<input type="text"/>	分
	東経	<input type="text"/>	度	<input type="text"/>	分		東経	<input type="text"/>	度	<input type="text"/>	分

キーワードによる検索

データの説明

7,873 個の日本の岩石について、物性値を文献、資料から統一的に数値化・編集し、まとめました。

採録した物性値は主に、1.密度、2.有効空隙率、3.熱伝導率、4.帯磁率(磁化率)、5.自然残留磁化強度、6.偏角(自然残留磁化)、7.伏角(自然残留磁化)、8.ケーニスベルガー比、9.P波速度、です。

この中で、密度とP波速度については、自然乾燥、強制湿潤、強制乾燥、の3種類に細分してあります。



問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は [prock-ml at aist.go.jp](mailto:prock-ml@nist.ac.jp) まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい)。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

重力データベース (GALILEO)



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/gravdb/>



概要

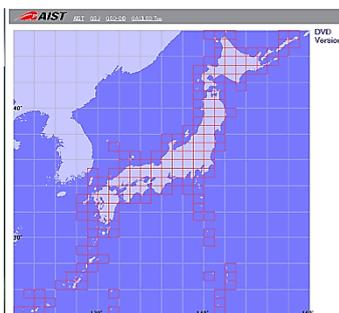
GSJが調査・研究してきた日本国内の重力分布データが収録され、ブーゲー異常図等の重力図を検索・閲覧および作成することができます。重力図（ブーゲー異常）を解析すると、地形や地表の地質図には現れていない平野の地下の起伏がわかります。たとえば、軟らかい地層は一般に密度が低いので、このような地層が厚いところでは重力が小さくなります。

データへのアクセス方法

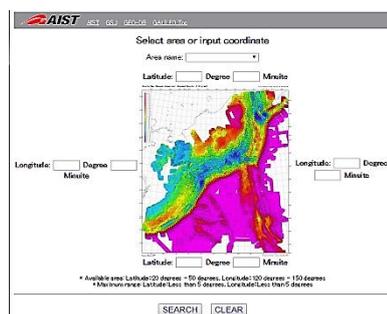
以下の3通りから選択が可能です。



区画(地域)選択



区画(一次メッシュ)選択

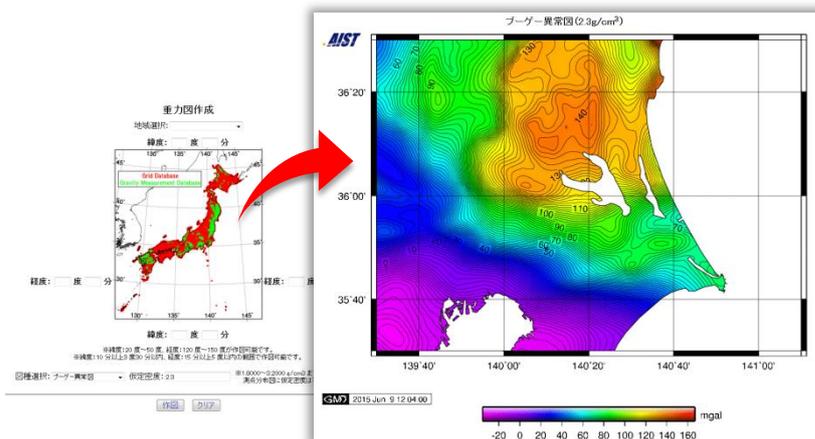


緯度・経度指定

データの説明

重力はその地域の地質（岩石の密度や地層境界面の凹凸）によって異なります。重力図（ブーゲー異常）から地下の地質構造やマグマの分布などを明らかにできます。

本データベースでは、出版済みの重力図を閲覧できるほか、全国の重力図をメッシュごとに見ることができます。また、自分で任意の地域の重力図等を描画させることもできます。このほか、重力図に関する解説もご利用になれます。

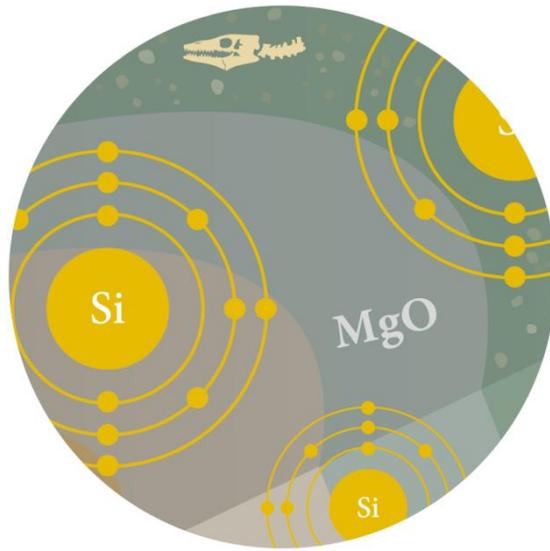


問い合わせ

質問・要望等は、「[重力データベース お問い合わせフォーム](#)」からお問い合わせください。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。



地球化学

地球化学図データベース



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/geochemmap/>



概要

地質調査総合センターが調査・研究してきた全国の地球化学データ（有害元素を含む元素濃度分布の全国マッピング、試料情報など）を見ることができるデータベースです。

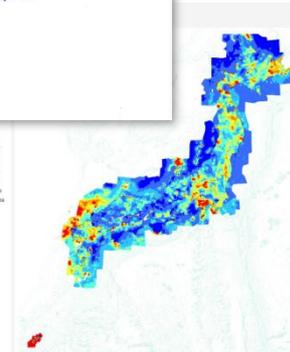
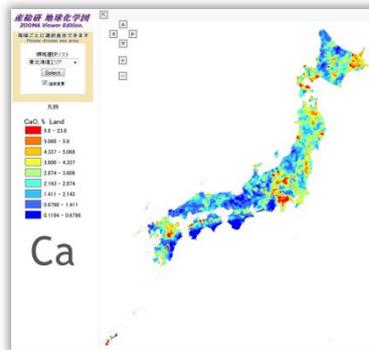
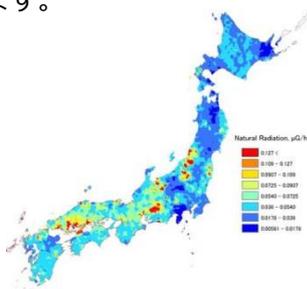
データへのアクセス方法

地図や周期律表、検索によって元素ごとの分布図を見ることができるほか、試料ごとの詳細情報も収録しています。



データの説明

本データベースでは、全国の河川堆積物、岩石、土壌等から収集した試料を分析し、元素濃度を濃度分布図およびデータで公開しています。日本の自然放射線量（放射線バックグラウンド）も掲載しています。



試料番号	52003
地名	沢が声
番号	9
緯度	36.0857
経度	140.18150
採取地	茨城県土浦市
川	梅川
河床幅m	
水深m	
河床状況	
試料粒度	
試料色調	
備考	
コメント	河床幅:10m, 流速:0.5m/s

元素濃度							
試料番号	52003	Elu	1.750	Sh	1.822	Tru	0.275
Al2O3	11.928	Sc	14.87	Sb	0.28	V	1.659
Ca	2.178	Cr	35.409	Cs	4.316	Lu	0.249
Fe2O3	5.876	Co	18.7	La	22.503	Hf	0.797
K2O	2.029	Ni	11.514	Ce	42.122	Ta	0.761
MnO	2.734	Cu	18.95	Pb	4.652	Tl	0.452
MgO	0.133	Zn	81.164	Hg	18.984	Pd	18.776
Na2O	2.238	Ga	16.758	Sr	3.618	Bi	0.07
P2O5	0.126	Rb	104.3	Eu	1.009	Th	7.708
TKO2	0.687	V	19.23	Gd	3.32	V	1.144
Ba	575.4	Zr	27.242	Tb	0.554	As	17
Sr	165.8	Pb	5.744	Dy	2.825	Hg	40
V	86.73	Mb	0.570	Ho	0.526		
Li	30.656	Ca	0.092	Er	1.595		

問い合わせ

このデータベースに関する問い合わせは、ページに記載の E-mail アドレス、または、地質調査総合センターお問い合わせ窓口 (<https://www.gsj.jp/inquiries.html>) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

地球化学標準物質データベース



【対応言語】 日、英 独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/geostandards/>



概要

正確な地球化学分析・計測のために、多くの分析機関で利用される岩石標準試料の情報を公開しているデータベースです。

データへのアクセス方法

地図上の試料名か、下記一覧にある試料名をクリック



Selection of elements

Sample code : JP-1 Composed elements are listed below.

Click the element

Ba	Fe	Nb	Os
Be	Ge	Pb	Re
Bi	Ga	Pd	Rh
Bk	La	Pf	Rn
Bs	Li	Pg	Ru
Ca	Lu	Pt	Sb
Ce	Mg	Ra	Se
Cf	Mn	Rb	Si
Cl	Mo	Sr	Sn
Cm	Ni	Ta	Sr
Cu	Pr	Tb	Te
Dy	Sm	Tm	Ti
Er	U	Y	Tl
Fm	V	Zn	Tl
Gd	W	Zr	U
Hf	Xe		
Ho			
Hs			
Ir			
It			
K			
Kr			
Ku			
Lr			
Lu			
Md			
Mg			
Mn			
Mo			
Nb			
Nd			
Ne			
Ni			
Nm			
Os			
P			
Pb			
Pd			
Pf			
Pg			
Pt			
Ra			
Rb			
Rc			
Rd			
Re			
Rf			
Rh			
Rn			
Ru			
S			
Sa			
Sb			
Sc			
Se			
Sh			
Si			
Sm			
Sr			
Su			
Ta			
Tb			
Tc			
Td			
Te			
Tf			
Tg			
Th			
Ti			
Tl			
Tm			
Tn			
To			
Tp			
U			
V			
Va			
Vb			
Vc			
Vd			
Ve			
Vf			
Vg			
Vh			
W			
Xe			
Xf			
Y			
Yb			
Yt			
Zn			
Zr			

Display Results of Searched Sample

Sample code : JP-1
Element code : Ge
Unit : ppm

Value	Technique	Year	Title of literature	Journal	Volume	Page	Page name
0.49	OES	1989	Personal communication, IESR				V.P. Abram
0.49	OES	1989	Determination of trace amounts of Ag, Bi, Ge, Mo, Sn, Tl and W in geochemical reference samples by atomic emission spectrography	Geost. Newsletter	73	269-272	ALU, Kuratova and NL, Chumilova

• Hit number : 2

データの説明

標準試料とは？

化学分析の測定結果を決定するためには、正確に値が決まっている標準試料を用いて分析機器の校正、分析方法の評価などを行うことが必要になります。

産業技術総合研究所では1964年以來40年以上にわたって岩石標準試料を作製し、世界各国の研究機関との共同研究により、化学組成や同位体組成、年代値について信頼性の高いデータを定め、公表してきました。このデータベースでは、分析精度を高める標準として世界中で利用されている標準試料のデータを公開しています。



問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、ページに記載の E-mail アドレス、または、地質調査総合センターお問い合わせ窓口 (<https://www.gsj.jp/inquiries.html>) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。



衛星

ASTER 高温領域 検出システム



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/nyouga/>



概要

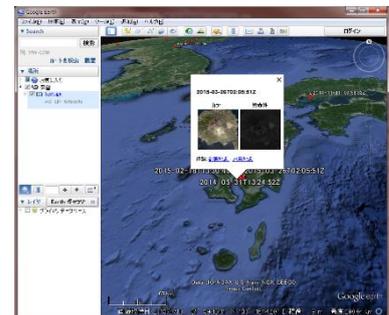
ASTER 高温領域検出システムは、地球観測衛星センサ（ASTER）の観測データを自動的に処理することで、森林火災や活火山の溶岩などを監視することを目的としたシステムです。

データへのアクセス方法

①地図上で検索



②KML をダウンロードして利用

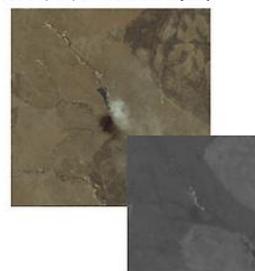


データの説明

本データベースでは、熱赤外バンドの観測値から、変換式を用いて輝度温度（熱放射から求められる温度）に変換します。ただし、低温の雲が上空にあった場合は地表面の熱が隠されてしまうため検出されない可能性や、局所的な高温領域を検出できない可能性があります。そして、求められた輝度温度が 330K（摂氏 56.85 度）以上の領域が 90m 四方を超えて広がっていた場合、高温領域としてシステムに登録されます。

観測データは自動的に処理され、高温領域が検出される毎に追加されます。

2011/08/30 08:06:38 (UT)



(lat,lon)=(-24.558584 31.417884)
南アフリカ共和国
マンイエレティゲーム保護区付近

2011/09/05 00:31:50 (UT)



(lat,lon)=(55.131382, 160.323061)
カムチャッカ半島の火山

ASTER: © AIST/METI, NASA

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は [aster-hotspot-ml at aist.go.jp](mailto:aster-hotspot-ml@nist.ac.jp) まで電子メールでお送り下さい（at は、@に変更して下さい）。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約（第 2.0 版）に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。ただし、ASTER 画像については Public Domain とします。データ利用の際には次の記載をお願いしております。Imagery courtesy "NASA/METI/AIST/Japan Spacesystems, and U.S./Japan ASTER Science Team, ASTER"

衛星データ検索システム MADAS



【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/madas/>



概要

衛星データ検索システム(MADAS: METI AIST satellite Data Archive System)は産総研地質調査総合センターから配信する衛星データ(現在は ASTER)を検索し、その結果を地図上に表示するとともに、KML や処理データのダウンロードを提供するシステムです。

データへのアクセス方法

以下の2通りの利用が可能です。



MADASを開く



テキスト入力による検索



地図による範囲指定

データの説明

ASTER (Advanced Spaceborne Thermal Emission and Reflection Radiometer)

経済産業省が開発した地球観測センサであり、NASAの地球観測衛星TERRAに搭載され1999年12月から現在(2016年4月時点)も運用が続くセンサです。産総研では、この衛星データの処理、高次利用に従事してきており、このたび高次処理したデータASTER-VA(ASTER Value Added)の配信を行うこととなりました。ASTER-VAデータは、KML形式とGeoTIFF形式があります。



結果を地図上に表示

*検索結果は、サムネール(サンプル)画像、Profile、Tar、KmlとOverlayで構成されます。

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は 地質調査総合センターお問い合わせ窓口 (<https://www.gsj.jp/inquiries.html>) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約(第2.0版)に準拠しています。詳しくは [GSJの利用規約のページ](#) をご覧ください。ただし、ASTER画像についてはPublic Domainとします。データ利用の際には次の記載をお願いしております。Imagery courtesy "NASA/METI/AIST/Japan Spacesystems, and U.S./Japan ASTER Science Team, ASTER"

海面上昇シミュレーションシステム

【対応言語】 日、英 独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/sealevel/>



概要

海面上昇シミュレーションシステムは全世界を対象に、海面水位が上昇した場合の浸水域を簡単にウェブから閲覧できるシステムです。

データへのアクセス方法



設定用のボックスと地図

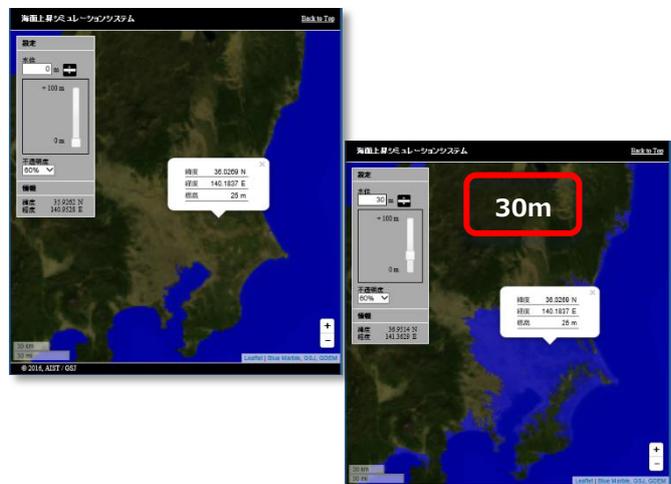


地図の拡大縮小を選択するボックス

データの説明

1. このシステムでは毎回、クライアント側で標高データを読み込んで、浸水域をオンデマンドに描画します(通常は、事前に計算した結果を描画)
2. 全球の標高データとして ASTER GDEM Ver.2(30m 空間分解能)を利用しています。
3. 国土地理院の提供する標高データ(地理院タイル 10m 空間分解能)がカバーしている地域については、地理院タイルを利用しています。
4. 入力する標高データは事前に統合する必要がありません。複数の標高データから描画対象とするデータを地域ごとに設定できます。
5. 同じ形式で標高データを公開する機関があれば、他機関が提供するデータを組み合わせることも可能です。

標高値と緯度経度の表示



海面上昇のシミュレーション

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は 地質調査総合センターお問い合わせ窓口 (<https://www.gsj.jp/inquiries.html>) から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約(第2.0版)に準拠しています。詳しくは [GSJの利用規約のページ](#) をご覧ください。本システムで利用している各標高データの利用条件については、それぞれご確認ください。

火山衛星画像データベース

【対応言語】 日、英、独、仏、伊、中、韓

<https://gbank.gsj.jp/vsidb/image/>

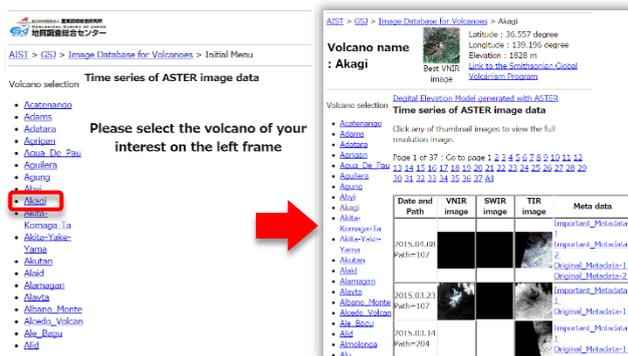


概要

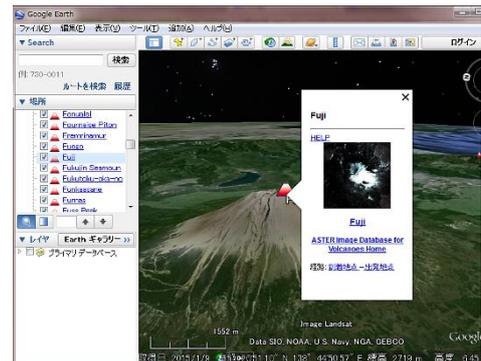
人工衛星から撮影された世界の火山衛星画像を公開するデータベースです。世界の 964 火山を登録しています。ASTER というセンサーで 2000 年以降に観測された全ての衛星画像を公開しています。

データへのアクセス方法

以下の 2 通りの利用が可能です。



ABC 順世界の火山リストから選択

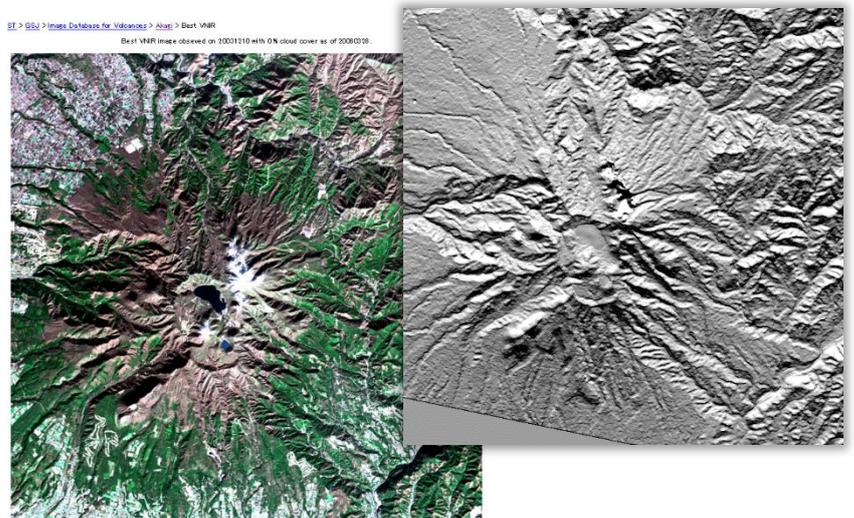


Google Earth 版
KML をダウンロードして利用

データの説明

各火山のページには、火山名、最も鮮明な VNIR 画像のサムネイル、火山の位置、標高が表示されます。デジタル地形モデル (DEM) がある場合には、そのリンクも表示されます。また、毎回の VNIR 画像、SWIR 画像、TIR 画像が一覧表示されます。各サムネイルからは大きい画像にリンクしています。

ASTER センサーおよび画像の種類について、詳しくはトップページの「使い方」を参照してください。



赤城火山の VNIR 画像と DEM 画像の例

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は [urai-minoru at aist.go.jp](mailto:urai-minoru@aisst.go.jp) まで電子メールでお送り下さい (at は、@に変更して下さい)。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。ただし、ASTER 画像については Public Domain とします。データ利用の際には次の記載をお願いしております。Imagery courtesy "NASA/METI/AIST/Japan Spacesystems, and U.S./Japan ASTER Science Team, ASTER"

地質情報の探し方

WMS / WMTS のご紹介

世界共通標準形式である WMS、WMTS による地質情報の配信サービスです。各データベースで、WMS / WMTS 配信対応となっているものは、こちらのサービスからご利用になれます。

GIS ソフトやウェブサイト構築にご活用ください。

<https://gbank.gsj.jp/owscontents/>

データへのアクセス方法

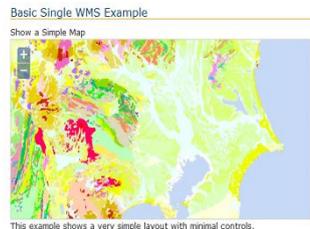
GSJ の研究成果情報を国際標準形式のウェブ・マップサービス (WMS) およびウェブ・マップ・タイル・サービス (WMTS) で配信しています。また、以下のような使い方を説明しています。

GIS ソフトウェアでのご利用

- Google Earth での利用例
- QGIS での利用例

Web サイトでのご利用

- OpenLayers での利用例
- Leaflet での利用例



OpenLayers での表示例



Leaflet での表示例

データの説明

スキャンデータ系サービス

出版済み地質図のスキャンデータを WMTS 形式で配信しています。

ベクトルデータ系サービス

ベクトルデータから作成した地図画像の WMS/WMTS 配信です。配信中のコンテンツは以下の通りです。

- 5 万分の 1 地質図幅 (一部地域)
- 20 万分の 1 日本シームレス地質図
- 200 万分の 1 日本地質図
- 200 万分の 1 日本地質図 - 20 万分の 1 日本シームレス地質図
- 日本の地球化学図
- 日本重力データベース
- 100 万分の 1 日本地質図 (英語版のみ)
- 200 万分の 1 東・東南アジア地質図 (英語版のみ)

スキャンデータ系サービス

出版済み地質図のスキャンデータを WMTS 形式で配信しています。地形図や文字等のデータが含まれます。



地質図ラスタータイルの WMTS
「地質図Nav」でご覧いただけるデータを、WMTS 形式で配信しています。
詳しくは [こちら](#)

ベクトルデータ系サービス

ベクトルデータから作成した地図画像の WMS/WMTS 配信です。ポリゴン・ライン等、複数のレイヤがあります。



5万分の1地質図幅一覧

図幅の一覧 [こちら](#)



20万分の1日本シームレス地質図

プレビュー [WMS](#) [WMTS](#) capability: 基本版: [WMS](#) [WMTS](#)

capability: 詳細版: [WMS](#) [WMTS](#)



200万分の1日本地質図

プレビュー [WMS](#) [WMTS](#) capability: [WMS](#) [WMTS](#)

capability: [WMS](#) [WMTS](#)



200万分の1日本地質図 - 20万分の1日本シームレス地質図(解像度切替版)

プレビュー [WMS](#) [WMTS](#) capability: [WMS](#) [WMTS](#)

capability: [WMS](#) [WMTS](#)



日本の地球化学図

プレビュー [WMS](#) [WMTS](#) capability: [WMS](#) [WMTS](#)

問い合わせ

このデータベースに関するご意見・ご要望は、地質調査総合センター お問い合わせ窓口 <https://www.gsj.jp/inquiries.html> から電子メールでお送り下さい。

ライセンス/使用上の注意

政府標準利用規約 (第 2.0 版) に準拠しています。
詳しくは [GSJ の利用規約のページ](#) をご覧ください。

地質情報の探し方

地質調査総合センター地質情報データベースの紹介

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第7

平成 28 年 10 月発行

本資料は産業技術総合研究所地質調査総合センターの組織著作物です。